

大学名： 宇都宮大学（大学番号10）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）	
10001	上原 秀一	suehara@cc.utsunomiya-u.ac.jp	哲学、教育学	教育哲学及び教育思想史について研修指導を行う。	日本語	1人	日本語、英語又はフランス語で論文が読め、コミュニケーションができること。	
10002	加藤 謙一	katok@cc.utsunomiya-u.ac.jp	体育方法学	身体の発育発達を理解した上で、発育期の子ども（幼、小、中、高）の体育授業のカリキュラムを考える。	日本語	1人	日本語又は英語で論文が読め、コミュニケーションができること。	
10003	丸山 剛史	marusan@cc.utsunomiya-u.ac.jp	カリキュラム開発・経営	教育課程論及び技術・職業教育についての研修指導を行う。	日本語、英語	1人	日本語又は英語で論文が読め、コミュニケーションができること。コスタリカ1、ラオス1	
10004	鈴木 啓子	suzukike@cc.utsunomiya-u.ac.jp	国文学	近代日本の文学について、小説を中心に解釈と鑑賞を行う。主に明治～大正期の短編小説を扱う。	日本語	1人	高度な日本語読解能力を有すること。日本古典文学への関心があること。	
10005	守安 敏久	tmoriya@cc.utsunomiya-u.ac.jp	国文学	日本近代文学の分野で、小説又は戯曲を読み込み、「文学」とは何かを考える。また、現代日本の演劇と文学との関係についても考える。	日本語	1人	高度な日本語読解能力を有すること。出願書類は日本語で書くこと。	
10006	森田 香緒里	kaorin@cc.utsunomiya-u.ac.jp	国語教育	国語教育の内容と指導法について指導する。（第2言語及び外国語としての日本語教授法は扱わない。）	日本語	1人	高度な日本語読解力を持つこと。	
10007	溜池 善裕	tameike@cc.utsunomiya-u.ac.jp	社会科教育	日本における社会科教育の現状を実際の学校現場の授業を参観・観察すること等を通して理解することをねらう。	日本語	1人	日本の小・中学校における社会科の授業を見て理解できること。	
10008	小原 一馬	kkohara@cc.utsunomiya-u.ac.jp	国際社会学	教育、文化、社会構造などに関する日本と諸外国の比較社会学。	日本語または英語	1人	日本語または英語で論文が読め、会話ができること。自国の文化と日本の文化への関心と十分な知識があること。	
10009	熊田 禎介	kumata@cc.utsunomiya-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育に関する理論的・実践的研究を行うための研修指導を行う。	日本語	1人	日本の小・中学校における社会科の授業を見て理解できること。コロンビア1	
10010	酒井 一博	kazsakai@cc.utsunomiya-u.ac.jp	数理解析	力学系から生まれるカオスやフラクタルについて学ぶ。具体的には、関数の繰り返しによって生じる興味深いカオス現象、美しいフラクタル図形をコンピュータ支援により計算・作成し、描かれた図形に隠されている数学の美しい理論について学習してゆく。	日本語	1人	微分積分と線形代数の基礎知識を有すること。	

10011	北川 義久	kitagawa@cc.utsunomiya-u.ac.jp	数学	曲線と曲面の微分幾何学に関する論文等を講読する。	日本語	1人	日本語及び英語で論文が読めること。
10012	伊東 明彦	ito@cc.utsunomiya-u.ac.jp	理科教育	論文講読、授業観察、教材研究などを通して、理科教育に関する理論的／実践的な研修指導を行う。	日本語	1人	日本語又は英語の読み書き、会話ができること。
10013	小原 伸一	koharas@cc.utsunomiya-u.ac.jp	音楽教育	音楽科教育の実践と理論研究を行うための様々な能力を身につける。音楽表現の技能（声楽や楽器演奏等の実技、日本の伝統音楽を含む）の修得、音楽教育研究の方法、分野、歴史の他、教材や指導法について日本の教育状況をふまえ研究を行う。	日本語	1人	ソルフェージュ能力を有すること。
10014	松島 さくら子	sakurako@cc.utsunomiya-u.ac.jp	工芸	日本の工芸の素材、技法、表現、歴史に関する講義・実習を行う。作品制作により、工芸表現の研究を行う。	日本語	1人	日本語又は英語でコミュニケーションできること。
10015	小宮 秀明	komiya@cc.utsunomiya-u.ac.jp	スポーツ科学、保健衛生学	本研究室では①安全管理やパフォーマンスの向上を目的とした骨格筋の運動生理学に関する研究、②身体活動が肥満や糖尿病の予防・是正に果たす役割についての実験的・疫学的研究、③児童生徒の肥満やスポーツ障害の予防に関する実践的な研究を行っている。	日本語	1人	日本語又は英語でコミュニケーションできること。
10016	戸田 富士夫	toda@cc.utsunomiya-u.ac.jp	技術教育、電気・機械工学	機械工学に関連した最新の技術動向について調査分析とそれらの技術を教授するための教材開発（ロボット、スターリングエンジン電子回路等）、及び技術教育における学習指導システムの開発を行う。	日本語	2人	日本語又は英語で論文が読め、コミュニケーションができること。インドネシア 1
	松原 真理	marim@cc.utsunomiya-u.ac.jp					
10017	赤塚 朋子	akatsuka@cc.utsunomiya-u.ac.jp	生活経営学	生活とは何かという基本的な問題について考察する。現代社会の急激な変化の実態を捉え、そこに生じている生活問題を生活経営の視点から検討する。	日本語	1人	日本語又は英語でコミュニケーションできること。
10018	陣内 雄次	jinnouchi@cc.utsunomiya-u.ac.jp	住居学、住環境学	エコロジカルなまちづくりと住居、まちづくり学習、少子高齢社会、景観保全、住民参加など近年のキーワードに関連する内外の文献をとりあげ輪読する。研修生は、ケーススタディに取り組むことにより、特定テーマを掘り下げるとともに、専門的な知識を身に付ける。	日本語	1人	
10019	佐々木 和也	sasakika@cc.utsunomiya-u.ac.jp	情報衣環境学	伝統染織を中心とした環境教育について基礎的な知識とスキルを習得する。さらに、生活や社会を豊かにしていくために、伝統染織が育み継承してきた文化を感性学的な視点から検討する。	日本語	1人	日本語又は英語でコミュニケーションできること。

10020	天沼 実	amanuma@cc.utsunomiya-u.ac.jp	英米学	言語習得や言語類型論の成果も視野に入れた上で生成文法や認知文法などの現代の主要な言語理論の発展、修正の方向を探る。英語の事実を詳細に検討した実証的研究に重点をおく。	日本語	1人	英語で論文の読み書きができること。高度な日本語の運用力を有すること。
10021	谷 光生	mtani@cc.utsunomiya-u.ac.jp					
10022	下田 淳	shimoda@cc.utsunomiya-u.ac.jp	西洋史	西洋史の知識の習得。	日本語	1人	日本語または英語のコミュニケーション能力